

# みんなの声を学校生活協へ!!

裏面もあります

2006年度 第3回地区総代会 おこたえ集 No.278 岩手県学校生活協同組合



1月23日から2月7日まで今年度最後の第3回地区総代会が開催されました。

3学期の学校生活協事業のご案内の他、4月～12月までの活動を写真とともに振り返ったり、『消費者問題を考える～多重債務に陥らないために～』というテーマで学習しました。岩手県においても多重債務の相談件数が年々増加、消費者相談の約10%を占めているという実態や、特に教員は公務員という社会的な信用も高く連帯保証人等をたのまれやすい、という背景を学習しました。そして万が一、多重債務に陥ったら「信用生協」という生協の相談機関があるのでそこに相談することを情報として学びました。

お寄せいただいたご質問やご意見を下記および裏面にまとめましたのでご覧ください。

支所	学校数	出席校	出席率	前年出席率	前年比較
盛岡紫波	79	73	92.4%	78.2%	→
岩手	72	54	75.0%	76.7%	→
稗貫	45	38	84.4%	80.0%	→
和賀	42	34	81.0%	95.2%	→
胆江	61	54	88.5%	92.2%	→
西磐井	42	37	88.1%	78.6%	→
東磐井	40	36	90.0%	84.4%	→
気仙	52	48	92.3%	88.5%	→
釜石	34	30	88.2%	80.6%	→
遠野	23	22	95.7%	95.7%	→
下閉伊	83	72	86.7%	86.7%	→
九戸	64	52	81.3%	81.0%	→
二戸	50	46	92.0%	84.6%	→
盛岡三支部(高校)	26	18	69.2%	64.3%	→
合計	713	614	86.1%	83.3%	→

ご出席ありがとうございました

高い参加意識が  
数値にも表れました

出席率

86.1%

参加校数は  
713校中  
614校  
でした

## ご存じですか?

「契約」は「いつ成立」すると思いますか?

- ①契約すると「約束」したとき
- ②契約書を「受け取った」とき
- ③契約書に「サイン」したとき
- ④契約書に「印鑑」を押したとき
- ⑤契約書を「渡した」とき

正解は…

- ①契約すると「約束」したとき

わたしたちの暮らしは「契約」によってなっている契約社会です。売買契約は「買う意志」と、「売る意志」が同時に成立した時、「契約」が成立します。例えば「いいです」「結構です」と口頭で言ったとき、売り手が「買うという意思表示だ」と捉えれば契約は成立しかねません。契約の正しい認識を持つことが消費者問題から逃れる第一歩です。近年、教職員や組合員のみなさまの破産が増加してきています。組合員みなさま自身のくらしを守るためにも、地区総代会ではミニ学習会として「消費者問題」について情報提供をいたしました。

## ～たくさんのご感想・ご意見の中から～



教員は公務員という立場上、社会的信用が高く、そのために連帯保証人をたのまれやすいようです。自分自身は関係なくても、親戚・親・兄弟・教員等から連帯保証人をたのまれたために多重債務に陥ってしまう、というケースもあります。

○「多重債務は自己の管理責任」という意識が強かったので、連帯保証人等で多重債務に陥るということに気付かされました。生活だけではなく、様々なおつきあいがあるからこそ考えたいです。

○悪質商法も多様になり、家族のことを考えると他人事ではありません。日頃から家族、周りの人と消費者問題について話題にしていることも大事だと思います。高齢者の家族がいるので心配です。賢い消費者にならなくては!。

○子ども達が成長するのに伴い、お金の問題はより身近に感じるようになってきました。金銭感覚を身につけることの大切さ、厳しさを実感しています。

○カードで自己破産する人が教職員にいと聞いたことがあります。連帯保証人で自己破産をするというのは正直意外でした。身近な問題だと確認できました。

○相談機関として信用生協という生協があるということを知ることができたのは良かったです。

○「結構です」「いいです」は断り文句として何気なく使う言葉です。たくさん被害者がいることをみなさんにお知らせしたいと思います。

○契約の成立について認識不足でした。わたしのまわりでも(多重債務で)困っている人がいます。しっかり知識を身につけることも大事ですが、シッカリした相談機関を利用することが大切だと感じました。

○教職員だから多重債務に陥らない、ということはない事実を知って驚きました。他人事とは思わずに身近な問題として捉えたいと思います。

○教員の多重債務の原因はストレスという話がありましたが、自分がまさにそうだったので、自分だけではないのだと感じました。家族に相談するのが大切だと思います。

○最近生活が苦しいという先生方が増えてきました。決して他人事ではないのも確かです。

